

公益社団法人全日本アーチェリー連盟

平成 28 年度定時社員総会 議事録

1. 総会の種類 定時社員総会
1. 招集年月日 平成 28 年 5 月 28 日
1. 開催日時 平成 28 年 6 月 12 日 午後 1 時 30 分～午後 4 時
1. 開催場所 東京都港区高輪 4-10-30 品川プリンスホテル 32 階 アカマリン 32
1. 総社員数 49 名
1. 出席社員数 42 名
1. 本人出席 北海道 青森県 岩手県 栃木県 群馬県 千葉県 東京都
神奈川県 石川県 福井県 静岡県 滋賀県 京都府 大阪府
和歌山県 山口県 徳島県 高知県 高体連
以上 19 社員
1. 委任状出席 宮城県 山形県 福島県 茨城県 埼玉県 山梨県 新潟県 長野県
富山県 三重県 岐阜県 兵庫県 奈良県 鳥取県 岡山県 広島県
愛媛県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 沖縄県
以上 23 社員
1. 欠席 秋田県 愛知県 島根県 香川県 宮崎県 鹿児島県 全日学連
7 社員
社員総数 49 社員

1. 議事の進行及び結果

定刻により社員総会が開始された。司会である工藤事務長は 49 社員中 19 名出席、23 社員の議決権行使書及び委任状提出を確認後、本連盟定款第 18 条により定時社員総会成立する旨宣した。なお、期日後に到着した 2 社員の議決権行使書を無効とした。

また、議事録署名人に、北海道の伊藤氏、徳島県の森本氏を指名し両人は承諾した。定款 16 条により宮崎代表理事が議長に就任した。

議長は用意された議題により会議を進行した。

1. 議案第 1 号「平成 27 年度事業報告」

○宮崎理事長 1 号議案資料により全体を説明

質疑 説明が終わり、議長より質問・意見を求めた。

大阪府より、「出席者一覧表の配付」と「資料に通し番号を振る」を検討してほしい。

宮崎理事長は了解し、来年度より対応する旨説明した。

採決 議長は議案第 1 号「平成 27 年度事業報告」について一同に諮ったところ賛成 42 票をもって承認された。

2. 議案第 2 号「平成 27 年度決算報告」

○工藤事務長 2 号議案資料「平成 27 年度決算報告」により説明

収入の部 164,897,326 円

公告料収益が、一般寄付金との見合いにより対前年度約 1,250 万増額

競技規則頒布収益が、対前年度約 220 万減額

バッジ認定料収益が、対前年度約 100 万減額

海外遠征自己負担金収益が、対前年度約100万増額

補助金が、制度の変更含めて対前年度約3,125万増額

*内JOCの強化交付金が、約1,100万円増額

寄附金が、公告料収益との見合いにより対前年約996万減額

支出の分 150,405,760円

旅費交通費が、補助金増による強化活動の増により対前年度約1,560万増額

支払負担金は、JISS 使用料、海外試合参加費により前年度約328万増額

諸謝金は、競技部・強化部で計2名増員により対前年度約247万増額

委託費は、事務局支援システムと助成金システム変更により対前年度約478万増額

管理費・旅費交通費は、各種委員会の増により対前年度約140万増額

以上により、当期一般正味財産は、13,995,347円の増、87,527,766円となった。

このうち、190万を50周年記念事業として、700万を国際大会開催準備として、また800万円を2020年OL,PL開催準備として特定資産とした。

○番監事より監査報告がなされた。

財務資料及び帳簿の管理状況とも適正に処理されているとの報告。

質疑 説明が終わり、議長より質問・意見を求めた。

和歌山県より、委託費の詳細について質問があった。また、京都府より委託費の内「会員登録システム」にかかった費用の質問があった。

工藤事務長より、委託費は、今年度より「高校選抜」「学連王座」「学連インカレ」が委託費用となった、「会員登録システム」は、約280万円であった、またシステム維持費として15万/月の支出があるとの説明があった。

大阪府より、特定資産の詳細について質問があり、来年度より公益認定等委員会に報告している特定資産の詳細を会議資料とすることとなった。

工藤事務長より、理事会に理事長提案で「特定資産の詳細」を議題として提案し、理事会の承認を得ている旨説明があった。

採決 議長は議案第2号「平成27年度決算報告」について一同に諮ったところ賛成42票をもって承認された。

3. その他報告事項（資料は当日配布）

○宮崎理事長より、資料3-1により28年度事業計画の説明があった。

訂正：3ページ「第27回全日本学生アーチェリー東日本大会」は消されているが実施された。

高体連より4ページの「全国指導者～」はガブリのため削除との意見があった。

○工藤事務長より、資料3-1にて「平成28年度予算」説明

収入の部 176,334,000円

自己負担金は、オリンピックイヤーのため約116万円減

競技規則頒布収益は、規則改定年のため約200万円増

受取補助金は、JOC強化交付金等で約2,100万円増

支出の部 161,997,620円

旅費交通費は、補助金増により959万円増

諸謝金は、エリートアカデミーのコーチ人件費等により約1,000万円増

委託費には、昨年度雑費で見ていた「ドーピング費用」を計上し、約891万円増、雑費は約678万円減

以上により、当期一般正味財産は、7,181,687円の減額予算となった。

借入金を今年度も2,000万円予定しているが、受取補助金の入金が年度を跨ぐため、年度を跨いで1年以内を短期借り入れとして処理する。

当予算が、5月28日の第1回理事会で承認された旨、報告した。

今現状、JOCの助成金が決定していないため9月の理事会で補正予算を上程予定である旨説明した。

大阪府より、「特定資産」はいつ頃、理事会に上程する予定かとの質問があり、宮崎理事長が、決算見通しがある程度着いた1月の理事会に提案する旨返答した。また、外部監査について質問があり、工藤事務長より「内閣府・公益認定等委員会」「渋谷税務署」「日本スポーツ振興センター」「JOC・NF総合支援センター」「会計検査院」の立ち入り調査があり、計算違い・規程の不備等軽微な指摘があり、都度改善している旨説明があった。

○工藤事務長より、資料4-1にて以下の報告が行われた。

・事務所移転について

法人会計(管理費)の負担増になるので今後、法人会計収入(登録料等)について相談させていただく。

・NTC拡張について

・2020東京OL,PL会場について

・会員登録システムについて

6月末を目途に会員証の発行準備を進めている。

千葉県より、会員カードのバーコードの利用方法について質問があり、工藤事務長が、将来的に管理システムに公認試合の登録・報告また参加申し込みが組み込まれたときに試合会場での受付等に利用する旨説明があった。

○谷脇理事より、資料4-2にて「内部監査」について報告された。

・平成27年度監査報告

・平成28年度監査予定

千葉県より、会員管理システムのパスワードは、工藤事務長だけが保有しているのかとの質問があり、現状そうである旨と今後は様子を見てもうひとりぐらい管理運営できる人を増やすことも考えている旨説明があった。

○宮崎理事長より、資料4-3にて下記の説明があった。

・つま恋カップを50周年記念イベントとして、過去のオリンピック選手を招待してエギジプションをする等

・文部科学大臣スポーツ功労者顕彰制度で、近大の古川選手・山田監督の受賞が決定した。

- ・支部協会内でのトラブルが「通報制度」窓口に寄せられ、解決中
- ・3件の事故報告なされ、安全管理の一層の徹底を促した。
- ・50周年記念式典・祝賀会について
- ・資料4-3-3により「参与団体」「支援団体」の紹介がなされた。

○津田競技部長より、資料5にて「平成27年度事業報告」「平成28年度事業予定」について説明した。

資料5-3の「栃木国体正式視察日」が10/25-26に決定した旨使説明があった。

栃木県も日程を確認した。

○工藤事務長より、資料6-3にて「エリートアカデミー」について説明した。

○溝井普及部長より、資料7-1にて「平成27年度事業報告」について説明した。

資料7-2にて「行動規範(案)」について説明した。

資料7-3にて「アンチ・ドーピング規程」について説明した。

資料7-4にて「平成28年度事業計画」について説明した。

京都府より「通信大会」について今年度より全ア連会員登録を義務付けているが、普及の観点から対象試合に会員以外のオープン参加を認めている旨発表があった。東京都より、行動規範に「多文化交流」の項目を追加しては、との提言がなされた。

和歌山県より、行動規範の「10」だけ妙に具体的で気になる旨の提言がなされた。

溝井部長より、上記提言を踏まえて今後「行動規範」を作成する旨説明があった。

○秦国際部長より、資料8により「平成27年度事業報告」「平成28年度事業計画」の説明があった。

事業計画で「WA事務局研修」に大倉執行役員を派遣した。また、「WA審判セミナー」が9月に開催されるとの追加説明があった。

工藤事務長より、「WA事務局研修」の費用は、「2020年OL, PL開催準備資金」が、「WA審判セミナー」は、「JSC基金助成」と「2020年OL, PL開催準備資金」が使われる旨追加説明があった。

大阪府より、国体の表彰式参加について試合のない日の費用が出ないため苦慮している旨の質問があった。

宮崎理事長より、現在「日体協の国体要項」に従って対応しているが、今後競技部にて表彰式の日程を検討する旨返答した。


議長は、用意された議題が終了したことを確認して、本日の議事が終了した。

宮崎代表理事が、議事のスムーズな進行にお礼を述べて平成28年定時社員総会は終了した。

この社員総会の内容を明らかにするため、議長と議事録署名人が記名押印する。

平成 28 年 6 月 12 日

議 長

宮崎利根 

議事録署名人

伊藤 一 

議事録署名人

森本祥史 